

『在日本難民を交えた異業種交流次世代リーダー研修』 ～ アフリカ/中東を身近な題材としてサステナビリティを考える～

[パイロット版:シリア編]
集合研修:2.5日間
2026年7月～2026年8月

この国(例 シリア/コンゴ民主共和国)からの難民との交流を図り、彼らの母国の社会課題(ひいては地球の社会課題)解決の可能性、特に「ビジネスの力で社会を変える」ために自社は何ができるか」を追求する

プログラムの概要

地球規模の広い世界観と多様な価値観を許容する深い懐を持ち、世界の様々な社会課題解決に事業を通じて貢献できるリーダーの育成期待が高まっています。特に、地球の持続性と事業の存続を両立できるサステナビリティリーダーシップが、ますますクローズアップされています。

日本にきている難民との対話/協働の場を組み込んだリーダーシップ研修を通じて、日本にいながらにして世界の現実を知り、身近に肌で感じる機会と、地球の課題を自分事として捉え直せる体験を提供します。

当研修での次世代リーダー育成の4つの機会提供

Global

<グローバルな視野を有すリーダー育成の必要性>

地球規模の広い世界観と多様な価値観を許容する深い懐を持ち、世界の様々な社会課題解決に事業を通じて貢献できるリーダーを育成する

Cross Cultural

<自身から程遠い異文化との交流による刺激を重視>

「地政学的に重要」な中東からの難民、成長著しいが「背後に暗い影を落とす問題を抱える」アフリカからの難民との交流はもとより、異業種交流研修とすることで、これからのリーダーに必要な視野の広さの涵養に繋げる



1st step in Japan

<日本で最初の一步を>

日本にきている難民との対話/協働の場を組み込んだリーダーシップ研修を通じて、日本にいながらにして世界の現実を知り、身近に肌で感じる機会を得る

Dialogue

<直接対話による自分事化>

グローバルな社会課題の渦中に生きる生身の人と直接触れ合う機会を通じた、地球の課題を自分事として捉え直せる体験を提供する

プログラム全体像



**難民を交えた交流
研修：1日間（日程は仮）**
7月23日（木）
9：30～17：00
（交流懇親会～19：30）

**サステナビリティリーダーシップ
研修：1日間（日程は仮）**
7月24日（金）
9：15～17：00

オプション：
アクションラーニング（在日本難民および、現地との追加コミュニケーション）：
集合研修終了後～ 4～5日間

フィールド・
インタビュー

検討

発表共有：
半日間（日程は仮）
8月22日（土）
9：00～13：00

2026年初回（パイロット）は、
日本企業で働くシリア難民を
講師とする予定

2026年初回（パイロット）は、
オプションは実施しない

対象者

- 次世代のサステナビリティリーダーを育成したいと考える企業の社員
- グローバル（特に中東やアフリカ）で起きている（地球規模の）現実の社会課題を自分事として考える機会を提供したいと考える企業の社員
- 海外研修に送りたいが、コストや日程の制限があるので、まずは日本で学びの場を提供したいと考える企業の社員

費用

15万円（税別） / 1名

お問い合わせ

お問い合わせは、PFC研修事務局 (info@peoplefocus.co.jp)
もしくは弊社担当者まで、まずはご相談ください！

テーマ

この国（例 シリア/コンゴ民主共和国）からの難民との交流を図り、彼らの母国の社会課題（ひいては地球の社会課題）解決の可能性、特に「ビジネスの力で社会を変える」ために自社は何ができるか」を追求する

